

DVDStyler による動画 DVD 作成

0. DVD のデータ形式

動画 DVD のデータ形式は、パソコンのデータ形式(フォルダやファイル)とは異なります。それで、パソコン内での「コピー → 貼り付け」でデータのコピーをしても(?出来ない)DVD プレーヤーで動画再生はできません。

拡張子が **iso** というパソコンのファイルがあります。これは、DVD のデータ形式を模倣した内容のファイルです。パソコン内の動画達を DVD に書き込む方法に、

- ・動画達を DVD に書き込むソフトを使って書き込む
 - ・動画達から一つの **iso** ファイルを作成(ソフトが必要)し、
iso ファイルから DVD に書き込む(専用のソフトが必要)
- があります。

1. DVD の種類

以前は、録画用 DVD とデータ用 DVD の2種類あったと思うけど、今は録画用しか見かけません。録画用 DVD には、

DVD-R, DVD-RW, DVD-RAM (, DVD-ROW, . . .)

といった種類があります。一般に値段は、

安い . . . **DVD-R < DVD-RW < DVD-RAM** . . . 高い
となっています。何故かという、
DVD-R . . . 一度だけ書き込みできる DVD

(書き込んだ後、それが失敗だったとしても修正は出来ない)

DVD-RW . . . 何度でも書き込み可能。ただし、書き足しは出来ません。

(書き込んだ後修正したければ、全体を作り直して書くことで可能)

DVD-RAM . . . データ用として書き込めば、書き足し、一部削除等が可能。

(ただし、**DVD-R(RW)** として使う場合は、書き足しできません。また、稀に DVD プレーヤーで再生できないことがあるらしいです。)

買うなら、**DVD-R** か **DVD-RW** のどちらかが無難でしょう。

2. ダウンロード(DL)とインストール(DL とインストールに関しては、別の場所で説明します。)

DVDStyler を DL しインストールします。ついでに、

VLC Media Player を DL しインストールしておくのがよい気がします。

【理由】 DVDStyler は、結構気難しいソフトです。ちょっとしたミスがあると DVD への書き込みをしてくれないときがあります。それならまだいいんですが、書き込みの途中で、「失敗」と表示して書き込みを中止してしまう場合があったり、書き込みは「成功」したのにその DVD を再生できなかつたりします。そんな場合、書き込みにはずいぶん時間が必要ですが、その時間は全て無駄になります。また、**DVD-R** で書き込みしている場合は、その **DVD-R** はもはや何の価値もなくなります。

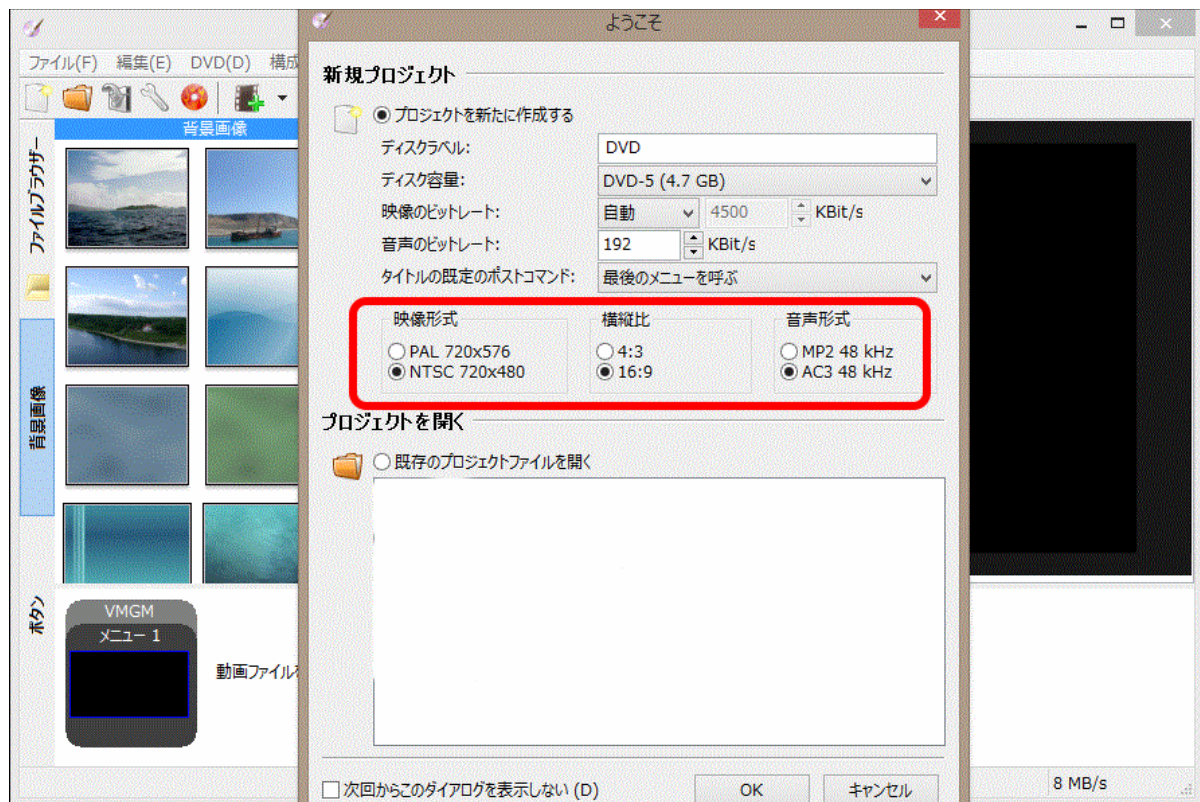
それを避ける為、DVD に書き込む前に、iso ファイルを作成しミスがないかチェックするという方法があります。幸いなことに、DVDStyler は、iso ファイル作成機能もあります。

が、iso ファイル再生機能はありません。VLC Media Player で、iso ファイルの再生が可能です。(VLC Media Player は、それ以外にも多彩な機能があります。)

更に、iso ファイルを DVD に書き込むソフト(例えば、CDBurnerXP 等)を DL しインストールしておくのがいい気がします。(再度 DVDStyler で書き込むより少し早く出来るから。)

3. 書き込む手順

DVDStyler を立ち上げると図のようになります。



「ようこそ」小窓が前面に現れますが(これは、立ち上げると常に現れる)、2択:

プロジェクトを新規に作成 と 既存のプロジェクトを開く

があります。(初めての場合は、プロジェクトはないですから、プロジェクト欄は空白で新規が選択されています。)

当然、新規で開始することになります。新規では、

赤枠で囲んだ「映像方式」、「縦横比」、「音声形式」

の三つを指定します。

「映像方式」は、NTSC 720×480

「音声形式」は、AC3 48 kHz

「縦横比」は、動画の縦横比

に合わせます。(動画の縦横サイズは、動画ファイルのプロパティで確認できます。昔の動画は 4:3 だったようですが、現在では 16:9 が多いようです。)

指定が終わったら、最下行の OK をクリックします。

「ようこそ」小窓が消えて、下図の「DVD メニュー用テンプレートを選択」窓が表れます。



メニューなし DVD を作る場合……右下の「テンプレートを使わない(N)」をクリックします。

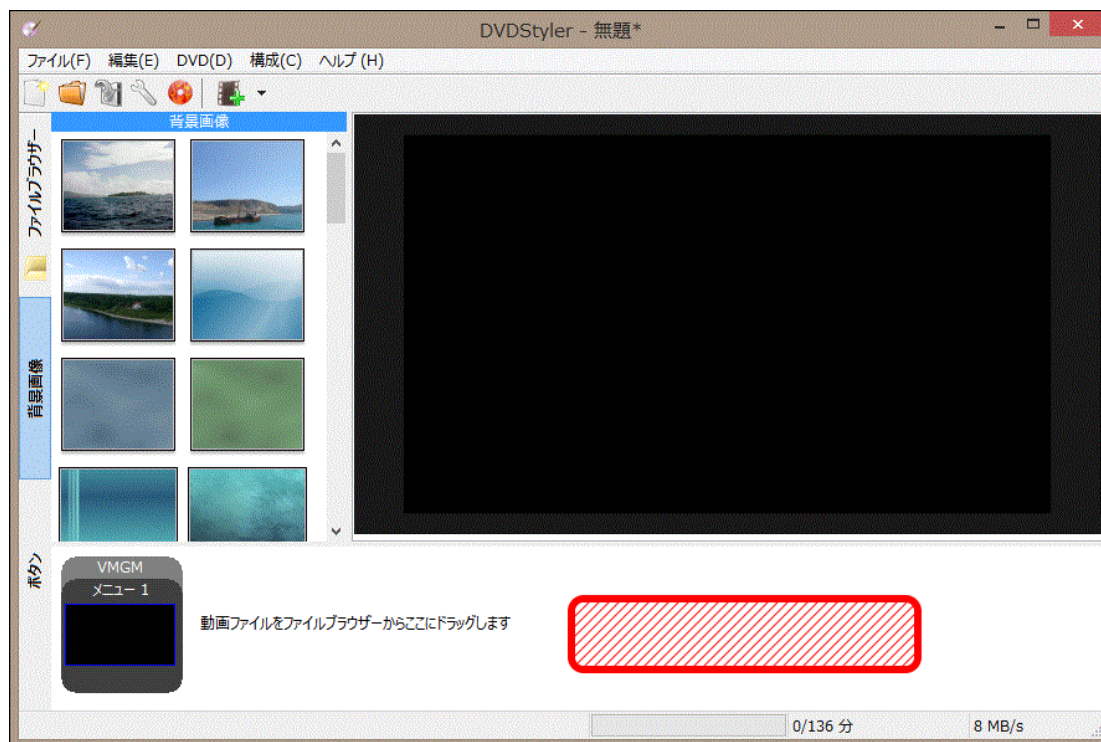
メニュー付 DVD を作る場合……テンプレートを選択し、「OK」をクリックします。

(どちらの場合も本体窓が表れますが、微妙に違います。)

【メニューなし DVD を作る場合】

4. 動画の構成

下図のようになっていると思います。



赤枠部分に、再生したい動画を、再生順序で登録します。

登録方法は2通りあります。

(楽な方法)エクスプローラで、登録したい動画ファイルのあるフォルダを表示し、そこから

ドラッグ・ドロップします。登録動画数だけ繰り返します。

(あまり使わない方法)メニューの「DVD (D)」をクリック。現れたサブメニュー「追加 (A)」にカーソルを合わせる。サブサブメニューの「ファイル」をクリック。フォルダーが表示されるので、動画ファイルのあるフォルダーに移動し、登録する動画ファイルを指定します。登録動画数だけ繰り返します。

下図は、動画を三つ登録した本体窓左下部分の表示です。



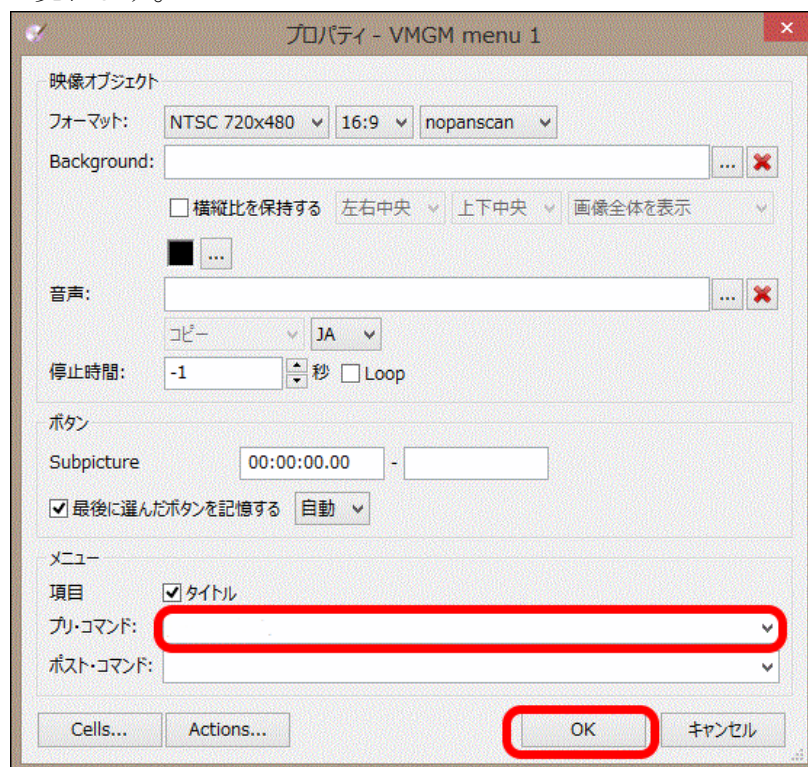
赤枠で囲った部分に、DVD 書き込みしたときの再生時間が表示されます。

図の場合、再生時間は16分で、全体時間136分にはまだまだかなりゆとりがあります。

5. 再生手順の設定

もともとある「VMGM メニュー1」と、ドラッグした3つの動画の設定を行います。順番に行います。まず、「VMGM メニュー1」を右クリックします。サブメニューが現れますが、その最下行の「プロパティ (P)」をクリックします。

次の図の窓が現れます。



赤枠で囲まれた部分(プリ・コマンド指定欄)の右端のチェックをクリックします。サブメニューが表れますが、そこで、「**jump title1;**」を指定(クリック)します。

プリコマンド指定欄が「**jump title 1;**」に変更されたことを確認して **OK** をクリックします。これで、**DVD** を再生すると、まずタイトル1の動画の再生が始まることになります。

次に「タイトル1」の動画を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。動画プロパティ画面では、「プリ・コマンド指定欄」ではなく、「ポスト・コマンド指定欄」の指定をします。右端をクリックし、表れたサブメニューから、

タイトル1を扱っている時.... **ump title 2;** を指定(クリック)

タイトル2を扱っている時.... **ump title 3;** を指定

exit; を指定(再生を終了するなら)、

タイトル3を扱っている時.... **jump title 1;**を指定(繰り返し再生なら)

とします。(要するに、タイトルの動画再生が終わったときどうするのかを指定します。だから、**jump next title ;** でも OK.です。ただし、最後の動画で **jump next title ;** を指定すると「次」がないので、再生が終了します。)

そして、**OK** をクリックします。以上で、構成完了！

次は、プロジェクトの保存ですが、その為の専用フォルダを作成しておきます。

作成中のプロジェクト(ファイル)、iso ファイルの保存場所として使用します。また、DVDStyler 自身が作業用に使う場所も確保します。

まず、適当な場所に **DVDStyler** 用のフォルダを作成します。フォルダ名は、後で確認できるものなら何でも構いませんが、ここでの説明では、**makeDVD** としておきます。

1. 適当な場所に、フォルダ「**makeDVD**」(半角文字で)を作成する。

2. **makeDVD** フォルダ内に、フォルダ(名前は全て半角文字)

temporary iso project

なるフォルダ3個を作成する。

次の3～5は、6. プロジェクトの保存 と 7. **DVD** への...で説明します。

3. 「一時保存用ディレクトリ」に **temporary** フォルダを指定する。

4. **iso** ファイルは、**iso** フォルダ内に保存する。

5. プロジェクトファイルは、**project** フォルダ内に保存する。

6. プロジェクトの保存

構成が完了したら、プロジェクトを保存しておきます。これを保存しておけば、修正が必要になったとき、プロジェクトを開き、現時点から再開できます。メニューの「ファイル」をクリックし、現れたサブメニューで「保存」を選択します。保存場所を聞かれるので上枠内の 5 の場所に適当な名前で作成します。プロジェクトは、メニュー「ファイル」の「開く」で開くことができます。

7. DVD への書き込み もしくは iso ファイルの作成

メニューバー左上にある赤丸(殆ど、赤い円で中心が白)をクリック
もしくは
「ファイル (F)」をクリックして、サブメニューから「書き込み (B)」を選択(クリック)。
どちらの場合も、同じで「書き込み」小窓が現れます。



DVDStyler は、全角文字に弱いです。「一時保存用ディレクトリ」指定欄に全角文字がある場合は、準備したディレクトリに変更しておくのが無難です。

(DVDStyler は、色々なデータを一後で使うため「一時保存用ディレクトリ」に保存します。図の指定欄には、全角文字「静夫」が使われていますが、それでも保存はしてくれました。でも、保存したものを取り出せないようです。いざ、取り出す段になったとき、全角文字があるパスを見つけることができず、「保存先が見当たらない」というエラーがでて、書き込み失敗に終わりました。)

一時保存用フォルダの変更は、先頭行で行います。指定欄の右側の枠で囲われた・・・をクリックすると、「ディレクトリの選択」窓が現れますから、そこで指定します。

次に、実行する内容：

生成のみ ISO イメージファイル作成 DVD に書き込み

を指定します。

「生成のみ」

使ったことがないので判りません。

「ISO イメージファイル作成」

これを指定すると、「保存先ディレクトリ欄」を指定できるようになります。直接指定するのではなく、右端の「・・・」をクリックするとエクスプローラ画面が現れますから、そこで、上の枠で説明した4の形:・・・¥iso¥ 「ファイル名」.iso で指定します。そして、最下行の「開始」をクリックします。

「DVD に書き込み」

ドライブに DVD を挿入します。DVD-RW で、既にかき込みされているディスクを再利用する場合は、「DVD-RW メディアをフォーマット」にチェックを入れて下さい。そして、最下行の「開始」をクリックします。

【注意1】

いずれの場合も、すごく時間がかかることを覚悟して下さい。大体、作成する DVD の再生時間位だと思っていればいいと思います。

【注意2 ISO ファイルを作成した場合の確認】

作成した iso ファイルのあるフォルダをエクスプローラで開きます。作成した iso ファイルをダブルクリックします。うまくいかない場合は、ファイルを右クリックし、「プログラムから開く」で VLC Media Player を指定してください。

【注意3】

ISO ファイルは、確認と DVD 書き込み以外の用途には不向きです。というか、ファイルサイズがすごく大きいです(1 GB 以上になる)。それで、用がなくなったら削除するのが賢明だと思います。(どうしても残しておきたいなら、パソコンの中ではなく、ハードディスクなどに保存する。)

【注意4】

操作ミスなどで失敗して元に戻したい場合は、メニュー「編集(E)」をクリックし、現れたサブメニューで「元に戻す(U)」をクリックします。

【メニュー付 DVD を作る場合】

下図の「DVD メニュー用テンプレートを選択」で、テンプレートを選択します。



テンプレートをクリックで選択したら「OK」をクリックします。例えば、緑枠で囲ったテンプレートを選択したとします。すると、表れる本体画面は次図のようになります。



最初はメニュー1の画面が表示されています。そこには、赤い四角形の並びが3行あります。先頭行はディスクタイトル、2行目は「全再生ボタン」、3行目は「タイトル選択ボタン」です。実際、赤い四角形にはそのように記されているんですが文字化けを起こして赤い四角形になっています。

試しに、1行目のフォントを変えてみることにします。

赤四角形並びの先頭行を右クリックして下さい。現れたサブメニューで、「プロパティ」を選択(クリック)します。この赤四角形並びのプロパティ(内容)が表示されます。その内容として「ディスクタイトル」と記されていますが、フォントを変更しますから、右側の「フォント設定」をクリックします。表れたフォント窓のフォントを、なじみのあるフォント(例えば、MS 明朝など)に変更してみてください。そして、**OK** をクリック。ついでですから、書き込む **DVD** のタイトルもディスクタイトルと書かれたものから変更して記述して下さい。更に、弄りたかったら適当にいじくってみてください。飽きたら **OK** をクリックします。これで、表示が変更されたと思います。

2, 3行目も同様、右クリックでプロパティ窓が現れ表示の変更ができます。ただし、2, 3行目は「ボタン」ですから、作成した **DVD** を再生している時、クリックでアクションを起こすためにあります。プロパティ窓で、どのようなアクションを起こすかの指定ができます。が、今回は用意された(デフォルト)設定通りにしておきます。文字部分だけを変更して下さい。

メニュー2についてです。下段の「**VMGM メニュー2**」をクリックして下さい。



メニュー2の画面が表示されます。ここには、9個の「ボタン」があります。

赤枠四角の6個のボタン、左右赤色矢印のボタン、赤い家の形のボタンです。

・赤枠四角の6個のボタンは個々の動画再生用のボタンです。ですから、動画が6個入れ

られます。用意した動画が、6個より多い場合は、ボタンを追加します。6個より少ない場合は、赤枠四角を削除して準備した動画と同じ個数にします。

【ボタンの追加】本体窓の左端に、メニュー(図の赤枠で囲った部分)

ボタン 背景画像 ファイルブラウザ

があります。メニュー「ボタン」をクリックすると、選択可能なボタンが表示されます。

【ボタンの削除】ボタンを右クリックします。現れたサブメニューで「削除(D)」を選びます。

【ボタンの種類】追加できる再生用ボタンは3種類あります。

何の表示もないもの

テキストを表示できるもの

画像を表示できるもの

(元々準備されている6個のボタンは画像を表示できるボタンです。)

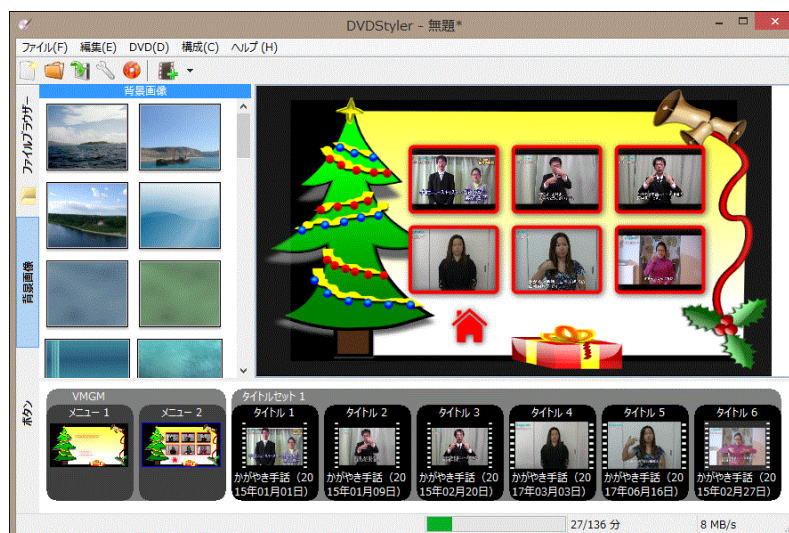
【ボタンの選択】選択するボタンを画面にドラッグします。置き場所が窮屈になりますから、元々あるボタンを縮小・拡大と移動を行います。また、取り込んだボタンも縮小・拡大と移動等を行います。

【ボタンの縮小・拡大と移動】ボタンをクリックします。すると、ドラッグで移動できます。マウスをボタンの端に持って行くとドラッグで縮小・拡大ができます。

・矢印ボタンは、メニュー移動用です。今回は不要です。削除してください。

・家のマークのボタンは、「メニュー1への移動ボタン」(ホームボタン)です。そのままそこに置いておきます。(移動とかしても構いませんが・・・)

・動画再生ボタンの個数の動画を、再生順に登録します。登録方法は、メニューなしDVDの場合と同様です。次の画像は、6個のボタンのまま動画が6個登録されています。あっ、「ホームボタン」をいじくって大きさと位置を変えています。



図の様に、画像表示できるボタンでは、対応する動画から自動的に画像を取り込んでくれます。(気に入らなければ、自分で準備した画像に変更可能です。)テキスト表示できるボタンには、何もしてくれませんから、自分でタイトルを作成する必要があります。

【画像変更、タイトル作成】どちらも、ボタンを左クリックで「プロパティ」窓を呼び出し、そこで行います。

「メニューなしDVD作成」では、それぞれの動画で「ポスト・コマンド」を指定しましたが、

ここでは、デフォルトが呼び出しメニューに戻る形になっているので不要です。

以上で、構成完了です。

後は、「メニューなし DVD 作成」の場合同様、プロジェクトを保存し、iso ファイルの作成と確認、そして DVD 書き込みを行うことになります。

お疲れさまでした。

【追】ここで説明したのは、DVDStyler のデフォルトに従ってメニューを付ける方法です。

色々な設定を行うことで、様々なヴァリエーションの DVD を作成できます。

例えば、メニューが二つ以上あるとか、タイトルセットが二つ以上あるとか。

ただ、目に見えない制約もあるようです。

- ・各メニュー画面で利用できる「ボタン」の個数は上限18個（それより多くの「ボタン」は付けられない。）

- ・各メニュー画面で、使用している色が多すぎると、書き込みで失敗する。（何色までなら大丈夫かは知りません。）

- ・iso ファイルは正常に作成し再生できるのに、何故か DVDStyler で書き込むと失敗する。DVDStyler 作成者自身にも原因が分らないらしく、「iso ファイルを作成したら、直接 (iso ファイルを) DVD に書き込んでくれ」と言ってるらしい。